

ご挨拶

一般社団法人 熊本県臨床検査技師会
会 長 増永 純夫

この度、瀧口前会長の後任として熊臨技会長に選出されました増永純夫でございます。
新役員を代表してご挨拶を申し上げます。

今年は2年に1度の役員改選の年であり、役員推薦委員会より提案されました理事25名、
監事2名が定時総会で承認され、そのあとに開催された理事会で会長推薦理事5名、常務
理事11名も承認いただき、新しいメンバーでの船出となりました。

前任の理事・常務理事の皆様には、熊臨技の活動ならびに発展に多大なるご尽力をいただ
き心より感謝申し上げます。特に、昨年は通年の事業に加えて熊臨技創立60周年・法人化
25周年記念事業および一般社団法人への移行など大きなイベントが続き、役員の皆様は大
変ご苦労されたものと推察いたします。また、会員数が現在1000名を超える団体へと発展
してまいりましたのも、今までの会員や役員の皆様の努力の賜物と重ねて感謝申し上げま
す。このような立派な実績を維持し、さらに発展させていくことが私たち新役員の務めで
あると肝に銘じ、これからの2年間を頑張ってまいりたい所存です。

日臨技からは昨年より11月に全国一斉に「全国検査と健康展」を開催するよう要請が来
ております。さらには、「検査説明・相談のできる検査技師」の育成も重要な事業と位置づ
けられ、今後、都道府県技師会で養成を行うよう指示が出ております。

このように日臨技と連携し新しい事業を展開していくことも、今後の大きな課題であり、
会員および賛助会員の皆様にも今まで以上のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成26・27年度 「一般社団法人 熊本県臨床検査技師会」 役員一覧

| 役職名 | 氏名 | 施設名 |
|------------|--------|------------------|
| 会長 | 増永 純夫 | 熊本中央病院 |
| 副会長 | 池田 勝義 | 熊本大学医学部附属病院中央検査部 |
| 副会長 | 田中 信次 | 日赤熊本健康管理センター |
| 常務理事（総務） | 松本 珠美 | 熊本保健科学大学 |
| 常務理事（広報） | 坂口 司 | 済生会熊本病院 |
| 常務理事（組織） | 河野 公成 | 熊本市民病院 |
| 常務理事（渉外法規） | 鬼塚 東洋 | 済生会みすみ病院 |
| 常務理事（事業） | 福吉 葉子 | 熊本大学医学部附属病院中央検査部 |
| 常務理事（学術） | 今田 龍市 | くまもと森都総合病院 |
| 常務理事（生涯教育） | 川口 謙一 | 熊本赤十字病院 |
| 常務理事（経理） | 工藤 圭子 | 牧診療所 |
| 理事 | 荒木 克巳 | 国立療養所菊池恵楓園 |
| 理事 | 石橋 浩三 | 荒尾市民病院 |
| 理事（渉外副） | 岡崎 孝憲 | 日赤熊本健康管理センター |
| 理事 | 尾崎 睦哉 | 牛深市民病院 |
| 理事 | 小田和 健一 | 熊本労災病院 |
| 理事（学術副） | 古閑 公治 | 熊本保健科学大学 |
| 理事 | 阪本 裕子 | 人吉医療センター |
| 理事（組織副） | 立山 敏広 | 熊本中央病院 |
| 理事（広報副） | 田上 圭二 | 済生会熊本病院 |
| 理事 | 田上 さやか | 熊本大学医学部附属病院病理部 |
| 理事（経理副） | 徳永 好美 | 熊本機能病院 |
| 理事 | 永田 邦昭 | 公立玉名中央病院 |
| 理事（総務副） | 野中 喜久 | 熊本保健科学大学 |
| 理事 | 平井 義彦 | 天草地域医療センター |
| 理事（事業副） | 外口 憲一郎 | 熊本市医師会地域医療センター |
| 理事（生涯副） | 外園 宗徳 | 国立病院機構熊本医療センター |
| 理事 | 三牧 司佳 | 菊池郡市医師会立病院 |
| 理事 | 山田 聡子 | 水俣市立総合医療センター |
| 理事 | 渡辺 正剛 | 山鹿市民医療センター |
| 監事 | 上原 正信 | 熊本市医師会検査センター |
| 監事 | 上田 和夫 | 自宅 |

平成 26 年度 第 3 回常務理事会

日 時 : 平成 26 年 6 月 10 日 (火) 18:30 ~ 21:00

場 所 : 熊臨技事務所会議室 (大窪 1-6-3 096-324-8477)

出席者: 増永、池田、田中、松本、坂口、河野、鬼塚、福吉、今田、川口、工藤

欠席者: なし

<報告事項>

- 1、会長報告; 医専連関係、県医師会関係、日臨技・九州支部関係、熊臨技関係
- 2、各部報告
 - ・総務 (松本): 日臨技及び他団体等との連絡事項、会員動向等
 - ・広報 (坂口): ニュース版の発行・発送、60 周年記念誌の発行
 - ・組織 (河野): ゴルフコンペ 5 組、組織率調査を検討→昨年度からの継続検討事項
 - ・渉法 (鬼塚): 平成 25 年度賛助会員 (現在 42 社)、広告募集 (16 社)
 - ・事業 (福吉): 熊本県精度保証セミナー7/12 熊保大 50 周年記念会館
 - ・学術 (今田): 第 7 回学術部講演会 (心血管系の臨床検査) 10/4 熊大、部門長会議
 - ・生涯教育 (川口): 生涯教育研修会等の開催・参加登録、あじさいセミナー延期
 - ・経理 (工藤): 通常経理報告
- 3、第 46 回熊本県医学検査学会開催結果 平成 26 年 6 月 8 日
学会出席者 会員約 270 名、入会予定 4 名、賛助会員 14 名、学生 15 名、一般公開 44 名
- 4、上野一誠氏の叙勲 (4 月 29 日) 瑞宝双光章 祝賀会予定 7 月 19 日 ホテル日航熊本
- 5、九州支部会議 (6 月 21 日 福岡 八仙閣) 出席予定: 瀧口、増永、田中、池田)
- 6、第 12 次米国医学研修団員募集の広報
- 7、シティ FM 健康サロン テーマ; 感染症と検査
(6/18 森口美琴技師)、(6/25 溝上幸洋技師)、(7/16 永田邦昭技師)
- 8、その他

<協議事項>

- 1、熊臨技各委員会の委員選出について
各担当部が案作りを行う。7 月の常務理事会までに案を提出。
- 2、平成 25 年度決算公告および法人提出書類の作成について
いずれは法人書類整備担当の常務理事を置きたい。平成 25 年度書類について関係理事で確認する。
(会議 6/19 18:30 以降に熊本中央病院にて)
- 3、新卒入会予定者の研修会参加について
免許証がくるまでの期間は申請中として扱うが、その後はなるべく速やかに入会していただきたい
- 4、平成 27 年度叙勲推薦者について
秋の叙勲に候補者を選出
- 5、名誉会員について
元熊臨技会長 梅橋豊蔵先生の推薦を検討
- 6、あじさいセミナーについて
6 月 28 日の予定を延期。8 月 30 日を次の候補日とする。会場その他の確認を川口常務理事が行う。
- 7、常務理事の引き継ぎについて
6 月末をめどに、当事者間で引継ぎを行う
- 8、その他
 - ・熊臨技から依頼した日本医学検査学会 (全国) の座長派遣旅費について
勤務施設から旅費が支給される場合には熊臨技では担当しない。それ以外の場合は上限を 5 万円として実費を精算する。参加登録費も同様とする。

次回会議 ; 7 月 8 日 (火) 18:30 ~ 熊臨技事務所

以上

(一社) 熊本県臨床検査技師会
会 長 増永 純夫
生涯教育部長 川口 謙一

「あじさいセミナー2014」のご案内

謹啓、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、熊本県臨床検査技師会ではあじさいセミナーを下記の通り開催致します。
このセミナーは新人教育の一環として毎年あじさいの咲く6月に開催しています。
講演後はボウリング大会や懇親会も予定しております。
今回は他の研修会と重なり、8月に延期になりました。深く、お詫び申し上げます。
つきましては、新入会員、新卒・入会予定技師の方ばかりでなく、一般会員の皆様の参加をお願い申し上げます。

謹白

記

開催日 : 平成26年8月30日(土) 14:00~16:00

会 場 : 同仁堂ホール スタジオライブ

内 容 :

- 13:30 受付
- 14:00 オリエンテーション
- 14:10 講演Ⅰ 接遇と医療安全
西山 明美 (あきた病院)
- 15:00 休憩
- 15:10 講演Ⅱ 個人情報保護について
西村 仁志 (熊本大学医学部附属病院)
- 15:40 部門長・常務理事紹介
- 16:00 移動 (スポーツ/大劇ボウル 16:15 集合)
- 16:30 ボウリング大会 (スポーツ/大劇ボウル)
- 18:00 懇親会 (ひゃくしょう茶屋)

会 費 新卒・入会予定者

- 1000円 (セミナーのみ)
- 2500円 (セミナー+ボウリング+懇親会)

一般会員

- 4600円 (ボウリング+懇親会)
- 3000円 (懇親会のみ)

申込締切 : 平成26年8月13日(金)

申込方法 : 氏名、勤務先、連絡先 (TEL)、セミナー受講の有無、ボウリング参加の有無
懇親会参加の有無を明記の上、メールまたはFaxにて下記までお送りください。

申 込 先 : 〒860-0008

熊本市中央区二の丸1番5号

国立病院機構熊本医療センター 臨床検査科

中島 一樹 (TEL) 096-353-6501 (Fax) 096-353-6510

(mail) ketueki@kumamed.jp

担 当 : (一社)熊本県臨床検査技師会 (生涯教育委員会)

平成 26 年度 熊本市民健康フェスティバルスタッフ募集

平成 26 年度熊本市民健康フェスティバルが、来る平成 26 年 9 月 27 日(土)、28 日(日)の 2 日間くまもと県民交流館パレア・鶴屋ホール(東館 7 F)にて開催されます。検査技師会の検査コーナーは例年通り 10F を使用します。今回も市民の方自身による尿検査体験コーナー・血管年齢測定を企画しております。また、検査体験コーナーと名打ち、病理検査体験、細菌の簡易染色など実際に触れて体験していただくコーナー及び乳がん検診の啓発運動としてモデルの展示・パンフレットの配布また子宮がん検診啓発コーナーも例年どおり企画しています。つきましてはご協力頂けるスタッフを下記のごとく募集致しますので会員諸氏の積極的な参加をぜひお願いします。尚、心電図検査、腹部超音波検査につきましては例年通り受検者数を各日 120 名とし、往復ハガキによる事前申込としています。

記

日時：平成 26 年 9 月 27 日(土)、28 日(日)

午前 8 時半より午後 4 時半まで

会場：県民交流館パレア

業務内容

尿一般検査説明介助、心電図検査、腹部超音波検査、体験コーナー(細菌検査、病理検査)
血管年齢測定、乳がん検診啓発コーナー、子宮がん検診啓発コーナー、受付案内

募集(予定)人員

| 業務内容 | 9 月 27 日 | 9 月 28 日 |
|--------------|----------|----------|
| 尿一般検査説明 | 6 名 | 6 名 |
| 細菌検査、病理検査 | 各 6 名 | 各 6 名 |
| 心電図検査 | 4 名 | 4 名 |
| 腹部超音波検査 | 8 名 | 8 名 |
| 血管年齢測定 | 6 名 | 6 名 |
| 乳がん検診啓発コーナー | 4 名 | 4 名 |
| 子宮がん検診啓発コーナー | 3 名 | 3 名 |
| 受付・誘導・案内 | 4 名 | 4 名 |

申込方法

別紙申し込み用紙に必要事項を記入の上、下記まで mail もしくは FAX にて返信下さい。

済生会みすみ病院 渉外・法規部 鬼塚 東洋

(Tel 0964-53-1601(内 572) FAX0964-53-1618)

返信用 Mail アドレス akihiro-onizuka@saiseikaikumamoto.jp 鬼塚宛

* 出勤者は、生涯教育点数(組織活動) 15 点の対象となります。

募集受付期間 平成 26 年 7 月末日

F A X 送 信 書

送信先 **FAX 0964-53-1618**
済生会みすみ病院
渉外・法規部 鬼塚 東洋

「平成 26 年度 熊本市民健康フェスティバルスタッフ 参加申込書」

施 設 名 (_____)

電話番号 (_____)

氏 名 (_____) 業務 () 出動日 ()

氏 名 (_____) 業務 () 出動日 ()

氏 名 (_____) 業務 () 出動日 ()

氏 名 (_____) 業務 () 出動日 ()

下記の番号（業務内容）、記号（出動日）を上記（ ）内に記入してください。

希望担当業務

- ①尿検査体験コーナー
- ②腹部超音波検査
- ③心電図検査
- ④血管年齢その他
- ⑤乳がん啓発コーナー・子宮がん啓発コーナー
- ⑥細菌検査・病理検査体験コーナー

希望出動日

a. 9月27日（土） b. 9月28日（日） c. 両日

会員各位

平成 26 年 6 月

日臨技九州支部 支部長 佐藤 元恭
日臨技九州支部 学術部長 有村 義輝
生物化学部門 池田 弘典
遺伝子部門 外園 栄作
実務担当 緒方 良一

日臨技九州支部卒後教育研修会『第 7 回 生物化学部門・遺伝子合同研修会』のご案内

会員 の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
このたび、生物化学部門遺伝子部門合同研修会を、下記のとおり宮崎県において開催するはこびとなりました。つきましては、各県会員の皆様の多数の参加をお待ちしております。

記

メインテーマ 「*Re : Check* ～もう一度見直そう基礎知識～」

主催：日本臨床衛生検査技師会九州支部

共催：日本臨床化学会九州支部

担当：(社)宮崎県臨床検査技師会

日時：平成26年8月2日(土)～3日(日) 12:00～

会場：ホテルマリックス 〒880-8561 宮崎県宮崎市千草町 15-8 Tel 0985(28)6161

【申込方法】

[募集人員] 100 名

[受講料]

8,000 円(宿泊をご希望の場合は別途、宿泊費6,000 円が必要です)

1日目の講義終了後、情報交換会(5,000 円)を予定しています。

多数のご参加をお待ちしています。

[申込方法]

e-mailにて

- ①氏名 ②性別 ③会員番号 ④施設名 ⑤住所 ⑥電話番号 ⑦メールアドレス
- ⑧ランチョンセミナー参加の有無 ⑨宿泊の有無(喫煙の有無)
- ⑩懇親会参加の有無

を記入のうえ、下記までお申し込みください。

折り返し受講料振込先をお知らせします。

[締め切り]

平成26年7 月15 日(ただし定員になり次第締め切ります)

[申込・問い合わせ先]

〒889-1601 宮崎県宮崎市清武町木原5200

宮崎大学医学部附属病院 検査部 緒方 良一 宛

Tel 0985(85)1870 fax 0985(85)1870

e-mail: yoshikazu_ogata@med.miyazaki-u.ac.jp

【プログラム】

メインテーマ 「*Re : Check* ～もう一度見直そう基礎知識～」

主催：日本臨床衛生検査技師会九州支部

共催：日本臨床化学会九州支部

担当：(社)宮崎県臨床検査技師会

日時：平成26年8月2日(土)～3日(日) 12:00～

会場：ホテルマリックス 〒880-8561 宮崎県宮崎市千草町15-8 Tel 0985(28)6161

1日目：8月2日(土)

ランチョンセミナー

11:50～12:40

「調整中」

栄研化学株式会社

受付

11:00～12:50

開講式

12:50～13:00

シンポジウム

13:00～14:00

「災害時における純水製造技術について(仮)」

① オルガノ株式会社

② 日立ハイテクノロジーズ

教育講演Ⅰ

14:10～15:10

「遺伝子検査：その現状と展望」

熊本大学大学院生命科学研究部生体情報解析学分野 奥宮 敏可 先生

教育講演Ⅱ 「分析前段階の問題点と対策 ―採血編―(仮)」

15:20～16:20

「採血」、みなさんもう検査始まっていますよ。～採血における注意点について～(仮)」

鹿児島大学医学部・歯学部附属病院 検査部 中村 政敏 技師

「注意したい変動要因(仮)」

大分県立病院 臨床検査部 仲西 陽香 技師

「Reversed-CPC」

16:30～17:30

「CPC-症例1」 熊本大学医学部附属病院 中央検査部 福村 由佳里 技師

「CPC-症例2」 佐賀大学医学部附属病院 検査部 池田 弘典 技師

情報交換会

18:00～20:00

ナイトセミナー 20:00～22:00

「細菌感染症と炎症マーカー」

聖マリア病院 中央臨床検査センター 佐竹 善誉 技師

「マイコプラズマを中心に ～当院における LAMP 法について～」

飯塚病院 中央検査部 松浦 辰也 技師

「感染制御への貢献（分子疫学的解析：POT 法）」

熊本大学医学部附属病院 医療技術部（臨床検査技術部門）大隈 雅紀 技師

2 日目：8 月 3 日（日）

教育講演Ⅲ

9:00～9:50

「宮崎大学医学部附属病院における病棟薬剤師業務の実際（仮）」

宮崎大学医学部附属病院 薬剤部 医薬品情報室 大野 梨絵 先生

特別講演Ⅰ

10:00～10:50

「チーム医療に求められる臨床検査技師の役割（仮）」

宮崎県立病院 臨床検査科 部長 石川 恵美 先生

教育講演Ⅳ

11:00～11:50

「JCCLS 共用基準範囲（設定から公表、共用を目指して）～九州からの発信～」

九州大学病院 堀田 多恵子 技師

閉校式

12:00～

* 研修会へはノースーツ・ノーネクタイでご参加ください。

* 必ず会員証をご持参ください。受付時に使用します。

平成 26 年 6 月 吉日

会員各位

生物化学分析部門
部門長 井島 廣子

生物化学分析部門（化学・免疫・情報研究班） 研修会のご案内

謹啓 会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、生物化学分析部門においては、検査データの見方、考え方などをテーマにシリーズで研修会を開催することになりました。

今回の研修会は、基礎的な検査データを基に 2 症例を 2 名の技師で紹介します。

この機会に検査データの見方について勉強されてみてはいかがでしょうか。特に、新人さんを含め興味のある方には、お勧めだと思います。

ご多忙の折とは存じますが、会員の皆様には多数の参加をお願いいたします。

謹白

記

【日 時】 平成 26 年 7 月 24 日（木） 18:30～20:00

【場 所】 熊本大学医学部附属病院 中央検査部 カンファレンス室

【参加費】 会員 無料 （非会員 3000 円）

【講演- 1】 『気になる検査データの見方シリーズ 症例 1 』

講師：的場 技師（熊本労災病院）

【講演- 2】 『気になる検査データの見方シリーズ 症例 2 』

講師：野中 裕直 技師（山鹿市民医療センター）

【会場案内】



【連絡先】 陣内会 陣内病院 臨床検査部 井島 廣子 (TEL 096-363-0011)

症例. 1

検査結果より病態解析

患者 : 70歳、男性

既往歴 : びらん性胃炎

主訴 : 腹痛

現病歴 : 4月22日に消化器内科受診、GF施行された。

4月23日、7時頃運転中に心窩部痛を自覚し救急要請、救急外来に搬送された。

| 項目名 | 単位 | 基準値 | XX/4/23(15:59) | XX/4/23(9:48) | XX/4/22 |
|--------|---------|----------|----------------|---------------|---------|
| TP | (g/dl) | 6.5-8.1 | 6.9 | 6.4 | 7.1 |
| Alb | (g/dl) | 4.0-5.3 | 3.9 | 3.6 | 4.0 |
| TB | (mg/dl) | 0.3-1.4 | 2.29 | 0.75 | 0.96 |
| UN | (mg/dl) | 7.0-20.0 | 11.6 | 13.1 | 12.3 |
| Crea | (mg/dl) | 0.4-1.2 | 0.74 | 0.76 | 0.84 |
| UA | (mg/dl) | 2.6-7.6 | 5.8 | 6.5 | |
| Glu | (mg/dl) | 70-110 | 116 | 122 | |
| Na | (mEq/l) | 137-145 | 143 | 146 | 147 |
| K | (mEq/l) | 3.8-5.0 | 4.0 | 4.2 | 4.8 |
| Cl | (mEq/l) | 98-108 | 105 | 109 | |
| TC | (mg/dl) | 130-220 | 173 | 165 | 176 |
| HDLC | (mg/dl) | 35-100 | 61 | 59 | 62 |
| LDLC | (mg/dl) | 70-135 | 99 | 104 | 107 |
| TG | (mg/dl) | 130-220 | 73 | 54 | 85.3 |
| AST | (IU/l) | 10-35 | 252 | 45 | 24 |
| ALT | (IU/l) | 5-35 | 158 | 23 | 20 |
| LD | (IU/l) | 100-250 | 415 | 346 | 241 |
| ALP | (IU/l) | 102-302 | 688 | 367 | 274 |
| GGT | (IU/l) | 5-60 | 269 | 56 | 14 |
| CK | (IU/l) | 35-232 | 83 | 88 | |
| AMY | (IU/l) | 35-120 | 602 | 124 | 118 |
| ChE | (IU/l) | 200-450 | 253 | 239 | 260 |
| CRP | (mg/dl) | 0-0.3 | 1.14 | 0.89 | 0.77 |
| CEA | | 5.0以下 | 2.2 | 検体溶血(+) | 2.3 |
| CA19-9 | | 37以下 | <2.0 | | <2.0 |

血液検査

| | | | | | |
|------|---------------------------|------------|------|------|------|
| WBC | $\times 10^3/\mu\text{l}$ | 3.9-9.8 | 7.9 | 9.3 | 6.2 |
| RBC | $\times 10^2/\mu\text{l}$ | 4.27-5.70 | 4.44 | 4.3 | 4.57 |
| HGB | g/dl | 13.5-17.6 | 13.4 | 13.2 | 13.7 |
| HT | % | 39.8-51.8 | 39.9 | 38.9 | 41.5 |
| PLT | $\times 10^3/\mu\text{l}$ | 131-362 | 186 | 176 | 185 |
| MCV | fl | 82.7-101.6 | 89.9 | 90.5 | 90.8 |
| MCH | pg | 28.0-34.6 | 30.2 | 30.7 | 30.0 |
| MCHC | % | 31.6-36.6 | 33.6 | 33.9 | 33.0 |

血液像

| | | | | | |
|--------|---|--|----|----|--|
| Eosino | % | | 0 | 1 | |
| N.St | % | | 8 | 9 | |
| N.Seg | % | | 81 | 68 | |
| LY | % | | 5 | 19 | |
| Mono | % | | 6 | 2 | |
| Baso | % | | 0 | 1 | |

凝固検査

| | | | | | |
|------|-----|-----------|-----|------|--|
| PT | % | 70-120 | 101 | 105 | |
| APTT | Sec | 26.1-35.6 | 28 | 27.1 | |

症例. 2

33歳 男性

既往歴:なし

主訴:倦怠感および下腿浮腫

現病歴:なし

受診時所見

| 生化学検査 | | |
|--------------|------|-------|
| 総蛋白 | 3.7 | g/dl |
| アルブミン | 1.8 | g/dl |
| T-Bil | 0.4 | mg/dl |
| AST | 25 | IU/l |
| ALT | 19 | IU/l |
| ALP | 118 | IU/l |
| LDH | 334 | IU/l |
| γ -GT | 12 | IU/l |
| ChE | 501 | IU/l |
| CRE | 0.92 | mg/dl |
| BUN | 18 | mg/dl |
| T-CHO | 520 | mg/dl |
| TG | 280 | mg/dl |
| Na | 135 | mEq/l |
| K | 3.6 | mEq/l |
| Cl | 102 | mEq/l |
| Ca | 6.8 | mg/dl |
| 血糖 | 92 | mg/dl |
| CRP | 0.12 | mg/dl |

| 血液検査 | | |
|------|------|------------------|
| WBC | 4800 | / μ l |
| RBC | 499 | 10^4 / μ l |
| Hb | 15.4 | g/dl |
| PLT | 25 | 10^4 / μ l |

| 尿一般検査 | |
|----------|------|
| 色調 | 淡黄褐色 |
| 混濁 | (+) |
| pH | 6 |
| 比重 | 1.03 |
| 蛋白 | (3+) |
| 糖 | (-) |
| 潜血 | (-) |
| 白血球 | (-) |
| ビリルビン | (-) |
| ウロビリノーゲン | (+-) |

第10回熊本超音波画像研究会 特別講演会開催のご案内

謹啓

盛夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。この度、第10回熊本超音波画像研究会を開催致しますのでお知らせ致します。

今回は駿河台日本大学病院 超音波室 室長 診療准教授 小川 眞広 先生をお招きしてご講演頂きます。またご講演前には症例検討も予定しています。

皆様、お忙しい中ではありますが、超音波検査に携わっている方のみならず、経験のない方もぜひご参加ください。

謹白

記

日時：平成26年7月11日（金） 18:30～20:40

（受付18:00～）

会場：くまもと県民交流館 パレア 9F 会議室 1

<http://www.parea.pref.kumamoto.jp/>

内容

情報提供 (18:30～18:40)

「ソナゾイドの最近の話題について」 第一三共株式会社

1. 症例検討 (18:40～19:20)

休憩 (19:20～19:40) 機器展示

2. 特別講演 (19:40～20:40)

座長 熊本赤十字病院 放射線科部 西小野昭人

「肝腫瘍の最新超音波診断」

～B-mode～sonazoidを用いた血流診断よりどこまで超音波で分かるのか?～

駿河台日本大学病院 超音波室 室長 診療准教授 小川 眞広 先生

※ 参加費として500円徴収させていただきます。（熊本県放射線技師会会員は200円）

尚、当日は軽食をご用意しております。

世話人

熊本赤十字病院

西小野昭人、本田明日香

済生会熊本病院

田上真之介、太田雄

くまもと森都総合病院

佐伯建彦

熊本大学附属病院

小味昌憲、清水紀恵

高野病院

美濃尚人、松本徹也

熊本機能病院

高石朋毅

共催 熊本超音波画像研究会

第一三共株式会社

後援 一般社団法人熊本県放射線技師会

協力 GEヘルスケアジャパン株式会社

日立アロカメディカル株式会社

シーメンス・ジャパン株式会社

東芝メディカルシステムズ株式会社

問い合わせ

熊本赤十字病院 放射線科部

TEL 096-384-2111(内線 7140)

西小野昭人

尚、ご記載頂いたご施設名、ご芳名は医薬品および医学・薬学に関する情報提供のために利用させて頂く場合がございます。何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成26年度赤十字血液シンポジウム

輸血シンポジウム2014 in 九州

日 時 平成26年8月23日(土)

受付) 12:00 開演) 13:00

会 場 アクロス福岡 イベントホール

福岡市中央区天神1-1-1

テーマ 【安全な輸血医療を目指して】

入 場 無 料

※事前申し込みが必要ですので別項の申込方法をご参照ください

※参加された方には参加証明書を発行いたします

主 催 日本赤十字社九州ブロック血液センター

後 援

日本輸血・細胞治療学会九州支部

福岡県医師会, 佐賀県医師会, 長崎県医師会, 熊本県医師会

大分県医師会, 宮崎県医師会, 鹿児島県医師会, 沖縄県医師会

福岡県薬剤師会, 佐賀県薬剤師会, 長崎県薬剤師会, 熊本県薬剤師会

大分県薬剤師会, 宮崎県薬剤師会, 鹿児島県薬剤師会, 沖縄県薬剤師会

福岡県看護協会, 佐賀県看護協会, 長崎県看護協会, 熊本県看護協会

大分県看護協会, 宮崎県看護協会, 鹿児島県看護協会, 沖縄県看護協会

福岡県臨床衛生検査技師会, 佐賀県臨床検査技師会, 長崎県臨床検査技師会

熊本県臨床検査技師会, 大分県臨床検査技師会, 宮崎県臨床検査技師会

鹿児島県臨床検査技師会, 沖縄県臨床検査技師会

プログラム

【開 会】13:00

開会挨拶

【基調講演】13:10～14:00

座長 熊本大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部 米村 雄士

PBM (Patient Blood Management) とは何か ～新しい考え方と輸血医療の潮流～

日本赤十字社北海道ブロック血液センター 紀野 修一

【多職種連携による輸血医療】14:00～16:45

座長 福岡県赤十字血液センター 佐川 公矯

[情報提供] 輸血用血液の安全対策について ～スクリーニング検査の更なる充実～

日本赤十字社血液事業本部 五十嵐 滋

1. 「冷式抗体保有患者への対応 抗原陽性赤血球製剤輸血について」

佐賀大学医学部附属病院 検査部 東谷 孝徳

2. 「血液製剤の一元管理は可能か ～小規模施設の取組み～」

医療法人 大分記念病院 臨床検査科 野中 恵美

●休 憩

座長 九州大学病院 遺伝子・細胞療法部 岩崎 浩己

3. 「今さら聞けない!! 看護師のための輸血過誤防止」

日本赤十字社近畿ブロック血液センター 阿藤 秀樹

4. 「その時どうする? 副作用発生時の看護師の対応」

山口県厚生農業協同組合連合会 長門総合病院 看護部 上田充哉子

5. 「産科領域における自己血輸血」

公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 産婦人科 長谷川雅明

【総合討論】16:45～17:20

進行役 福岡大学病院 輸血部 熊川みどり

佐賀県赤十字血液センター 入田 和男

閉会挨拶

【閉 会】17:30

講演要旨

【基調講演】13:10～14:00

PBM (Patient Blood Management) とは何か ～新しい考え方と輸血医療の潮流～

日本赤十字社北海道ブロック血液センター副所長(認定医) 紀野 修一

同種血輸血には、これまで知られてきた有害事象に加え、最近術後合併症の増加や患者転帰へ悪影響を及ぼすことが報告されている。患者の利益を考えると、同種血輸血を極力避ける方策をたてる必要がある。すなわち、術前の早い時期から、患者のヘモグロビン値、抗血小板薬などの服薬状況、併存疾患の状況などを把握し、個々の患者に適した輸血回避プログラムを作成し、周術期全体を通して実行する必要がある。このような取り組みをPatient Blood Management (PBM; 患者中心の輸血医療)と呼ぶ。PBMには多職種の医療従事者がチームとして関与すること、科学的な根拠に基づいた方法を用いることが必須である。

【多職種連携による輸血医療】14:00～16:45

1. 「冷式抗体保有患者への対応 抗原陽性赤血球製剤輸血について」

佐賀大学医学部附属病院 検査部検査技師長(認定輸血検査技師) 東谷 孝徳

冷式抗体保有患者への抗原陽性赤血球輸血において、輸血副作用を認めなかったとの症例報告は比較的多い。さらなるエビデンスの強化を図るため多施設共同調査を実施した。本調査では溶血の有無について、臨床検査値による溶血の判定基準に加え、患者情報、疾患、病態などを参考に総合的に判定した。その結果、臨床検査値上も冷式抗体保有患者への対応抗原陽性赤血球輸血において、明らかな溶血を示唆する所見は認められなかった。

2. 「血液製剤の一元管理は可能か ～小規模施設の取組み～」

医療法人大分記念病院 臨床検査科長 野中 恵美

当院は病床数118床で主に血液疾患、透析医療を担う小規模な内科専門病院である。輸血業務に関しては、開院当初から臨床検査科で血液製剤の一元管理をしており、アルブミン製剤の管理を薬剤科から臨床検査科に切り替え、輸血管理料をいち早く申請することが出来た。2012年に実施された実態調査で、小規模施設では管理料を取得できない主な原因として一元管理の問題が上がっている。本シンポジウムでは、当院の管理体制の取組みを報告する。

3. 「今さら聞けない!! 看護師のための輸血過誤防止」

日本赤十字社近畿ブロック血液センター 学術情報課長 阿藤 秀樹

輸血は「血液」という臓器の移植であり、血液製剤の不適切な取り扱いや輸血手順の省略は取り返しのつかない大事故(輸血過誤)につながる可能性があります。輸血過誤の原因は、記載ミスや連絡ミスといった事務的な誤りが多数を占めますが、本シンポジウムでは医薬情報活動を通じて経験した技術的な誤りに起因する輸血過誤事例を紹介し、皆様と情報共有することで再発防止に繋がればと期待します。

4. 「その時どうする? 副作用発生時の看護師の対応」

山口県厚生農業協同組合連合会 長門総合病院 看護部主任(学会認定臨床輸血看護師) 上田充哉子

TRALI(輸血関連急性肺障害)は、非常に稀で、かつ重篤な副作用であり早期発見と迅速な対応が求められる。本シンポジウムでは、当院で起こったTRALIの事例を基に取り組んだ輸血バッグの回収、輸血終了後6時間の経過観察、検査科との連携体制等を紹介する。これにより、看護師は輸血副作用への意識が高まり、細心の観察等が行えるようになった。重篤な副作用を起こさないために、起こった時には看護師に何が出来るのかを考える機会にしてもらえたらと考える。

5. 「産科領域における自己血輸血」

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 産婦人科主任部長 長谷川雅明

産科領域で自己血輸血を行う対象疾患としては、低置胎盤、前置胎盤、癒着胎盤、子宮筋腫合併妊娠などがある。産科における特殊性としては、1)低置胎盤では経膈分娩を試みることもあり、輸血の時期が不確定であること。2)前置胎盤においても予定帝王切開前に出血のため緊急手術になることが往々にしてあること。3)癒着胎盤の分娩前診断は困難なことがあることなどである。自施設のデータも含め、産科領域における自己血輸血について概説します。

参加申込方法

入場無料

(事前申し込みが必要です。事前申し込みがない場合、入場をお断りする場合があります。)

① ホームページからの申し込み

「日本赤十字社九州ブロック赤十字血液センター連盟(BC9)」ホームページ
<http://www.bc9.org/> から【輸血シンポジウム2014】にアクセスして頂き、
必要事項をご入力の上、お申し込みください。

② FAXによる申し込み

専用申し込み用紙に必要事項をご記入頂き、FAXにてお申し込み下さい。
「日本赤十字社九州ブロック赤十字血液センター連盟(BC9)」ホームページ
<http://www.bc9.org/> から【輸血シンポジウム2014】にアクセスして申し込み用紙をダウンロードしてください。

③ 申し込み期間

平成26年6月2日(月)～平成26年8月8日(金)

多くの皆様のご参加をお待ちしております

問い合わせ先

【事務局】 日本赤十字社九州ブロック血液センター 事業部 学術情報課
住所: 福岡県久留米市宮ノ陣3丁目4番12号
電話: 0942-31-8983

会場案内



- 福岡空港から天神まで地下鉄空港線で11分
- JR博多駅から天神まで地下鉄空港線で5分
- 西鉄福岡天神駅から徒歩10分
- 地下鉄空港線天神駅から徒歩3分(16番出口)
※地下鉄空港線天神駅16番出口から、
アクロス福岡地下2階へ直接入館できます。
- 地下鉄七隈線天神南駅5番出口から徒歩3分
- バス停から徒歩 市役所北口から0分
天神4丁目から3分
中央郵便局前から5分

第 11 回荒尾市健康福祉まつり 出動者及び活動報告

日時：平成 26 年 5 月 31 日(土)、6 月 1 日(日)

会場：荒尾総合文化センター

主催：荒尾市地域医療福祉推進協議会

荒尾市健康福祉まつり実行委員会

『第 11 回荒尾市健康福祉まつり』が荒尾総合文化センターで開催されました。まつり前日の 5 月 31 日は午後より会場設営、血糖検査、心電図検査の準備を行いました。当日は天気に恵まれ、血糖検査 364 名、心電図検査 120 名と多くの方々におこしいただきました。検査を受けられた方は相談コーナーの専門医からの説明を熱心にお聞きになっていました。

5 月 31 日(土) 12:30~17:00 荒尾総合文化センター

前日準備：石橋 浩三、永瀬 博、西田 志保、片山 美紀、高野 愛、
山崎 芳満、池内 尚貴、竹田 仁美、中島 卓弥（荒尾市民病院）

6 月 1 日(日) 9:00~16:00 荒尾総合文化センター

【血糖検査】

石橋 浩三、永瀬 博、西田 志保、山崎 芳満、池内 尚貴、竹田 仁美、
村上 きよ子、中島 卓弥（荒尾市民病院）
霍田 進(有働病院)

【心電図検査】

福田 直子、島村 千奈美、高野 愛、竹田 仁美（荒尾市民病院）
血糖測定機貸出：アボット・ジャパン株式会社



熊臨技[生涯教育講座研修過程]プログラム

平成26年8月～平成26年10月

| 月日 | 場所 | 主 題 | 内 容 | 区分 |
|--------------|-----|-----------------|---|----|
| 8月未定 | 天草市 | 第4回天草地区研修会 | 一般検査 | |
| 8月10日 | 人吉市 | 輸血細胞治療部門研修会（人吉） | 輸血検査基礎講座 | 専門 |
| 8月23日 24日 | | 臨床微生物学会教育セミナー | | |
| 9月未定 | | 県央地区勉強会 | | |
| 9月5日 | 熊本市 | 臨床血液部門研修会 | 骨髓像の見方・考え方 | 専門 |
| 9月10日 | 人吉市 | 人吉地区勉強会 | 未定 | |
| 9月11日 | 熊本市 | 臨床一般部門研修会 | 寄生虫について | 専門 |
| 9月12日 | 熊本市 | 臨床生理部門研修会 | 腹部エコー基礎 | 専門 |
| 9月20日 | 熊本市 | 臨床微生物部門研修会 | 微生物講・遺伝子講習会（実技含む） | 専門 |
| 9月25日 | 熊本市 | 病理細胞部門研修会 | 第2回症例検討会 | 専門 |
| 9月25日 | 熊本市 | 生物化学分析部門研修会 | 気になる検査データの見方シリーズ 症例後編 ～症例1～ ～症例2～ | 専門 |
| 9月27日 | 熊本市 | 輸血細胞治療部門研修会 | 症例検討会1 2 3 認定輸血検査技師を受験して | 専門 |
| 10月9日 | 熊本市 | 臨床一般部門研修会 | 未定 | 専門 |
| 10月23日 | 熊本市 | 病理細胞部門研修会 | 技術講習会 病理検査技師の今後の役割（仮題） | 専門 |
| 10月23日 | 熊本市 | 臨床生理部門研修会 | ペースメーカー心電図の判読 | 専門 |
| 10月28日 | 熊本市 | 臨床血液部門研修会 | 凝固検査のピットフォール | 専門 |

*上記プログラムの内容やカリキュラム名・区分・点数は変更される場合がありますので
ご了承下さい。

*各研修会は会員の技師会費で運営されています、県技師会としては非会員の受講料を
一律3000円といたします。

| |
|----|
| 点数 |
| |
| 20 |
| |
| |
| 20 |
| |
| 20 |
| 20 |
| 20 |
| 20 |
| 20 |
| |
| 20 |
| |
| 20 |
| 20 |
| 20 |
| 20 |